

## 経済対策

田中 修

はじめに

温家宝総理は5月23日、国務院常務会議を開催し、経済情勢を分析するとともに、当面の政策を手配した。経済政策に関する国務院常務会議は4月13日に開催されたばかりであり、2ヶ月連続は異例である。4月のデータが3月よりも悪化し、経済の低下傾向に歯止めがかからないため、追加措置が必要になったのであろう。

本稿では、会議の概要を紹介する。

現在、わが国の経済運営は総体として平穏であり、経済成長は年初予期した目標区間内を維持しているが、内外環境は更に錯綜・複雑さを増しており、いくらかの新たな変化が出現している。世界経済の回復の曲折性・非常な困難性は更に際立ってきている。国内経済の運営においては、依然いくらかの際立った矛盾・問題が存在し、とりわけ経済の下振れ圧力が増大している。我々は、有利な条件と積極要因を見て取り、経済政策への自信を堅固にしなければならない。同時に、直面する情勢の複雑性・峻厳性を十分に推し量り、冷静に観察し、沈着に対応し、転ばぬ先の杖で、経済政策の主動権をしっかりと掌握し、今年の経済社会の発展目標の実現を確保しなければならない。

「穏」の中で「進」を求めるといふ政策の総基調を真剣に貫徹し、経済の平穏で比較的速い発展の維持・経済構造の調整・インフレ期待の管理の3者の関係を正確に処理し、成長の安定を更に重要と位置づけなければならない。情勢の変化に応じ、事前調整・微調整を強化し、政策的的確性・柔軟性・展望性（予見性）を高め、需要を拡大する政策措置を積極的に採用し、経済の平穏で比較的速い発展の維持のために良好な政策環境を創造しなければならない。

構造的減税政策を引き続きしっかり実施し、企業の税負担を軽減しなければならない。穏健な金融政策という基本方向を堅持し、社会の合理的な資金調達規模を維持し、貸出構造を更に最適化し、実体経済の需要を満足させることを更に重視しなければならない。

内需拡大に力を入れ、消費を促進する政策措置を整備する。省エネ製品を庶民に優遇するプロジェクトの実施範囲拡大をしっかりと実施し、ソーラー製品等の新エネルギー製品を公共施設・家庭に導入することを支援し、光ファイバーの家庭への普及を加速し、社会保障的性格をもつ住宅・農村危険住宅の改造に対する支援を強化する。

第12次5ヵ年計画の重大プロジェクトの期日通り実施を推進し、全局に関わり牽引性の強い重大プロジェクトを始動し、既に確定した鉄道、省エネ・環境保護、農村・西部地域のインフラ、教育・衛生、情報化等の分野のプロジェクトについては、前期の建設進度を加速しなければならない。建設中・建設継続を要するプロジェクトを円滑化し、存在する

問題を確実に解決し、「中途半端な」プロジェクトの出現を防止する。

民間投資が鉄道・市政・エネルギー・電信・教育・医療等の分野の建設に参加することを奨励する。

小型・零細企業の創業・興業支援に力を入れる。

輸出政策を安定化・整備し、企業が積極的に市場を開拓することを支援し、対外貿易の安定的成長を促進する。

「強農・恵農・富農」政策を実施し、農業の再豊作実現に努力し、主要農産品の有効供給を保障する。

不動産市場コントロール政策を安定的かつ厳格に実施する。

経済発展方式の転換を加速し、経済構造の調整を積極的に推進し、重点分野の改革を深化させなければならない。とりわけ、産業を転換・グレードアップし、落后した過剰生産能力を淘汰し、企業が管理を強化し科学技術を革新し、資質・実力を鍛え上げ、潜在力を深く掘り起こし、発展のラストスパート力・市場競争力を不断に増強するよう誘導しなければならない。

(5月25日記)